

国内産いもでん粉製造事業者の経営改善計画の認定について

砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律に基づき、国内産いもでん粉製造事業者に対して交付される交付金については、当該事業者がその経営の改善を図るための措置に関する計画を作成し、その内容が適当である旨の農林水産大臣の認定を受けていることが、交付対象要件の一つとされています。

今回、認定を受けた事業者及び経営改善計画の概要は以下のとおりです。

番号	事業者名 (製品の種類)	計画の 実施期間	経営改善計画の概要	認定 年月日
1	ようてい農業協同組合 (ばれいしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	<p>でん粉工場の製造原価を低減するため、原料集荷量の維持・向上、人件費・修理費等の削減、新規の設備投資の抑制により生産性向上を図ることで、でん粉工場の安定的な運営を維持する。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画期間の減価償却費を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均を平成25～29でん粉年度の製造経費の5年中庸3カ年平均に比較して、1.19%以上低減する。 ・産業廃棄物として処理しているでん粉粕について、令和3事業年度までに平成28～30事業年度発生量の平均と比較して、20%削減する。 ・減価償却費について、令和3事業年度までに平成30事業年度発生額と比較して、20%削減する。 	R2.1.28
2	北ひびき農業協同組合 (ばれいしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	<p>工場の操業に万全を期すために計画的な大規模改修を行うとともに、工場稼働率の向上を図る中で経費全般の削減に努め、経営の改善に努力し、ばれいしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位製品重量当たりの製造経費(減価償却費を除く)を平成25年から平成29年までの実績の5年中庸3カ年平均値に対し1.19%以上の削減を図る。 ・消耗品費の平成30年度実績に対して計画最終年度までに5%の削減を図る。 ・一般管理費の平成30年度実績に対して計画最終年度までに5%の削減を図る。 	R2.1.28
3	士幌町農業協同組合 (ばれいしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	<p>国内ばれいしょでん粉製造事業者として、初めてISO22000を取得、継続運用しておりますが、更に、近年頻発する災害等の不測の事態に対応するため、供給責任を果たすべくレジリエンス認証を取得し、安心・安全だけではなく安定生産・安定供給を軸に地域社会を含めた全てのステークホルダーに満足して頂けるような取組を実施する。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約10トンの積載量の車輛にて集荷を行っていたのを令和元年産より約13トンの積載量の車輛に変更し、周回回数を減少させることで原料集荷の効率化を図る。また、工場の操業前の試運転期間に早生系の原料ばれいしょの集荷を行い、原料集荷進度を早め原料の減耗を抑制する。 ・平成29年に取得したISO22000-2005年版の更新を令和元年に実施し、令和2年に2018年版に対応するよう品質管理システムを改善する。また、平成30年に取得したレジリエンス認証(BCP/事業継続計画)のシステムの改善を行い、令和2年に認証更新を行う。 	R2.1.28
4	東部十勝農産加工農業 協同組合連合会 (ばれいしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	<p>高でん粉含有原料用ばれいしょの計画的な集荷により工場の稼働率向上を図るとともに、材料費、修繕費の低減に努め製造経費の削減を図り、ばれいしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位製品重量当たりの製造経費を令和3事業年度末までに糖価調整法第36条第2項第2号の標準的な製造経費の額を下回る水準とする。 ・R3事業年度における修繕費を29事業年度と比較し、2%以上の低減を図る。 ・R3事業年度におけるでん粉原料用専用品種作付面積のうちシストセンチュウ抵抗性品種の作付面積割合を29事業年度から30%以上に増加させ、安定的な原料確保に努める。 	R2.1.28

番号	事業者名 (製品の種類)	計画の 実施期間	経営改善計画の概要	認定 年月日
5	南十勝農産加工農業協 同組合連合会 (ばれいしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	<p>会員農協と協力して原料生産技術の向上等により原料処理の増加を図り、工場の稼働率を向上させ、ばれいしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各計画年度における減価償却費、人件費、長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均を25～29でん粉年度の製造経費の5年中庸3年平均と比較して、1.19%以上削減させる。 でん粉原料用専用品種の作付面積におけるシストセンチウ抵抗性品種の作付率を、平成30年度の4.5%から令和元年度は20%以上、令和2年度は30%以上、令和3年度は40%以上への向上を図る。 令和3年度における減価償却費を平成30年度減価償却費と比較し、3,000千円以上低減させる。 	R2.1.28
6	美幌地方農産加工農業協 同組合連合会 (ばれいしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	<p>①令和3事業年度までに製造段階における排水処理設備の新設 ②大規模改修による工場稼働率の向上 等により製造コストの低減を図り、ばれいしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画期間における減価償却費、人件費及び長期借入金利息を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均を、25～29でん粉年度の製造経費の5年中庸3年平均と比較して1.19%以上低減する。 令和1事業年度から令和3事業年度における修繕費の平均を平成30事業年度を下回る水準へ低減させる。 平成30事業年度に取得した国際認証(ISO22000:2005)の2018版への更新を令和2事業年度に行い、生産管理手法の見直しやハザードの抑制・低減に努める。 	R2.1.28
7	株式会社オホーツク網 走 (ばれいしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	<p>修繕費の削減、新規設備投資の抑制等によりでん粉製造コストの低減を図ることにより、馬鈴しょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 単位製品重量当たりの製造経費を計画年度末までに糖価調整法第36条第2項第2号の標準的な製造経費の額を下回る水準とする。 減価償却費を29事業年度と比較し、30%削減させる。 修繕費を29事業年度と比較し、5%低減させる。 	R2.1.28
8	清里町農業協同組合 (ばれいしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	<p>①でん粉含有率の高い品種の作付けと表・てん菜・馬鈴しょの適正輪作体系の維持による工場稼働率の向上 ②施設・設備の更新による円滑な工場操業 ③でん粉製造工程で排出される高濃度排水の液肥としての有効活用 等により、馬鈴しょでん粉工場の安定的な運営を維持する。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 単位製品重量当たりの製造経費を計画年度中(令和元年～3年)に糖価調整法第36条第2項第2号の標準的な製造経費の額を下回る水準とする。 補助材料費及び修繕費を平成30年度を下る水準に低減する。 	R2.1.28
9	斜里町農業協同組合 (ばれいしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	<p>計画的な原料集荷による工場稼働率の向上、老朽機器の計画的な更新及び整備技術向上等により、製造コスト低減を図り、馬鈴しょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各計画年度における減価償却費、人件費、長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均を25～29でん粉年度の製造経費の5年中庸3年平均と比較して、5.0%以上削減させる。 令和3年に製品ベースで約2,000tの他地区からの原料受入が見込まれるため、R3事業年度の減価償却費、人件費、長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費を、29事業年度と比較して10%の低減に努める。 計画的な原料集荷により、操業日数を最小限に抑えることで、R3事業年度の電力料を、29事業年度と比較し単位製品重量当たり10%の低減に努める。 	R2.1.28

番号	事業者名 (製品の種類)	計画の 実施期間	経営改善計画の概要	認定 年月日
10	小清水町農業協同組合 (ばれいしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	<p>①各地区より専任された澱原馬鈴薯対策委員会の協力による生産性向上 ②車両洗浄の徹底による病虫害蔓延防止及びカップ検診での圃場センチウ密度把握による効果的な抵抗性品種の作付拡大、さらに関係機関・関連部署との連携による防除技術及び適期の情報提供 に努め、工場稼働率の向上を図り、安全・安心なでん粉を製造するとともに、安定的な向上運営を維持する。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標) ・減価償却費、人件費、長期有利負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均を25～29澱粉年度の製造経費の5年中庸3か年平均と比較して1.19%以上削減する。 ・シストセンチウの抵抗性品種の作付面積比率を令和元年度は70.2%、2年度は80%、3年度は90%への向上を図る。 ・デカンター設備の入替により、電力の削減を図る。</p>	R2.1.28
11	いぶすき農業協同組合 南さつま農業協同組合 さつま日置農業協同組合 (かんしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	<p>①生産農家との連携による計画的な原料集荷 ②高品質のでん粉製造・食品用途向け販売数量の拡充 等により、かんしょでん粉製造事業の経営の改善を図る。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標) ・各計画年度における減価償却費を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均を1.16%以上削減させる ・高付加価値澱粉製造における「こなみずき」の継続作付栽培と新品種「こないしん」の作付を推進する。</p>	R2.1.28
12	鹿児島きもつき農業協同組合 (かんしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	<p>①病気や災害に強い新品種等の普及拡大により単収の増加を図り、工場稼働率の向上に繋げるとともに ②衛生的製品の製造により食品用途向けの販売拡大を図ること 等によりかんしょ製造事業の安定経営を図る。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標) ・最終計画年度における減価償却費、人件費、長期有利負債を除く単位製品重量当たりの製造経費を25～29でん粉年度の製造経費の5年中庸3か年平均に対して1.16%以上削減させる。 ・でん粉原料用甘藷の新品種「こないしん」の早期普及に取り組み、反収の増加、面積拡大、歩留り向上を図る。 ・早期出荷分に対し、奨励金を支出し、工場操業の安定化及び2期作耕作者の生産性向上及び工場の操業安定化を図る。 ・食品安全の国際基準資格を取得し、衛生管理を徹底し食品向けへの販売強化を図る。</p>	R2.1.28
13	種子屋久農業協同組合 (かんしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	<p>①種子屋久地区原料甘藷一元集荷連絡協議会の下、優良品種の作付を増加させることによる澱粉原料用かんしょの増産 ②それによる、工場稼働率の向上、澱粉歩留の向上、製造経費の削減による生産性の相当程度の向上 によりかんしょ澱粉製造事業の安定的な運営を維持する。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標) ・最終計画年度における減価償却費、人件費、長期有利負債を除く単位製品重量当たりの製造経費を25～29でん粉年度の製造経費の5年中庸3か年平均と比較して1.16%以上削減させる。 ・でん粉原料用甘藷の多収性新品種である「こないしん」の普及に取り組み、反収を令和3でん粉年度までに平成30でん粉年度より5%以上増加させる。 ・令和3でん粉年度までに、減価償却費を25～29でん粉年度の中庸3か年平均より1割以上削減させる。</p>	R2.1.28

番号	事業者名 (製品の種類)	計画の 実施期間	経営改善計画の概要	認定 年月日
14	株式会社サナス (かんしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	<p>バイオ苗の販売促進と新品種原料の作付け拡大に取り組むことにより、工場稼働率の向上を図るとともに、付加価値の高い高品質な製品づくりを推進し、かんしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各計画年度における減価償却費を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均を25～29年度の製造経費の5年中庸3力年平均と比較して1.16%以上削減させる。 原料かんしょ生産者または収穫面積を増加させ原料集荷量を、令和3年度までに平成30年度に比し1.2% 高める。 高品質の製品を製造し、食品用途向けへの販売数量を平成30年度から令和3年度までに5.0%高める。 	R2.1.28
15	上原産業有限会社 (かんしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	<p>①優良苗を生産し生産者に配布することで、原料生産量の増加に繋げるとともに、新品種を中心とした苗生産に努め、苗事業を強化する。 ②原料受け入れ期間の見直しにより、製造コストの節減を図る。 ③他部門の経営精査を行い、財務状況の向上等を図る。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各計画年度における減価償却費、人件費、長期有利子負債を除く単位製品重量当りの製造経費の平均を25～29でん粉年度の製造経費の5年中庸3力年平均と比較して、1.16%以上削減させる。 R3事業年度のでん粉原料用苗生産量を28事業年度生産量(30万本)より10%以上増加させる。 HACCPに基づいた衛生管理の導入により品質を向上させることで、食品加工用に対応できる製品の製造を図る。 	R2.1.28
16	株式会社加治佐澱粉工業 (かんしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	<p>①病気等に強い優良品種の苗供給による安定契約の推進 ②製造設備の動線見直し 等により、かんしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画期間における減価償却費、人件費、長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均を25～29でん粉年度の製造経費の5年中庸3力年平均と比較して、1.16%以上削減する。 R3事業年度における作付面積を29事業年度と比較して20%増やし、収量の増加を図る。 製造設備の動線を見直し、作業能率の向上を図ることで、製造コストの低減を図る。 	R2.1.28
17	株式会社廣八堂 (かんしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	<p>①製造経費の削減や、優良品種・種苗の導入促進 ②製造コストの削減 により、かんしょでん粉製造事業の安定的運営を維持する。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> R3事業年度に於けるこないしんの集荷数量の割合を全集荷量の1.5%まで伸ばす。 R3事業年度における製品販売単価を29事業年度と比較し、5%以上増加させる。 	R2.1.28
18	有限会社廣瀬澱粉 (かんしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	<p>原料いも生産の担い手育成、バイオ苗の配布、新品種の普及により工場稼働率の向上を図り、かんしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 減価償却費、人件費、長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均を25～29でん粉年度の製造経費の5年中庸3力年平均と比較して、1.16%以上削減させる。 R3事業年度における販売費及び一般管理費を29事業年度と比較して1%削減させる。 	R2.1.28

番号	事業者名 (製品の種類)	計画の 実施期間	経営改善計画の概要	認定 年月日
19	西阪産業株式会社 (かんしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	品質の一層の向上による高付加価値製品の生産と作業効率の向上に努め、かんしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・減価償却費・人件費・長期借入金利息を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均を25～29でん粉年度の製造経費の5年中庸3ヶ年平均に比して、1.16%以上低減させる。 ・高価格用途への供給増加と製品販売単価のアップに努める。	R2.1.28
20	福井澱粉有限会社 (かんしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	契約数量の拡大等による工場稼働率の向上を図り、かんしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・減価償却費・人件費・長期借入金利息を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均を25～29でん粉年度の製造経費の5年中庸3ヶ年平均に比して、1.16%以上低減させる。 ・令和3事業年度における修繕費を29事業年度と比較し、10%以上低減させる。 ・令和3事業年度における減価償却費を29事業年度と比較し、15%以上低減させる。	R2.1.28
21	三和物産株式会社 (かんしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	契約農家との連携を図りながら原料用かんしょの優良品種の導入を推進し原料の安定的確保に努め、かんしょでん製造事業の安定的な運営を維持する。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費をR3計画年度末までに糖価調整法第36条第2項第2号の標準的な製造経費の額を下回る水準とする。 ・でん粉原料用かんしょの新たな推奨品種であるこないしんの普及拡大を図る。 ・R3事業年度におけるでん粉製造工程で排出される澱粉粕の発生率をH30事業年度と比較し0.6%低減させる。	R2.1.28
22	市丸産業株式会社 (かんしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	①優良種苗の導入及び早期植え付け促進などにより反収増を図り、原料の安定確保に努める ②HACCPの取り組みが始まるに伴い製造工程見直しを行い、環境整備及び機械の適正な維持管理に努め製品の品質向上を図る。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・各会計年度における減価償却費等を除く単位重量当たりの製造経費の平均を25～29でん粉年度の製造経費の5年中庸3ヶ年平均と比較して、約1.21%以上削減する。 ・新品種の増殖活動への支援及び農家への周知活動や、バイオ苗の普及活動へ協力し、29事業年度と比較し、単収を14%増加を図る。 ・HACCPに沿った衛生管理の義務化に伴い環境整備を行う。また、品質向上のため乾燥設備の改良を行い、29事業年度と比較し、時間出来高の9%増加を図る。	R2.1.28
23	有限会社中村澱粉 (かんしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	種子島一元集荷連絡協議会の下、効率的な工場運営に努めながら品質の良いかんしょでん粉を製造し、かんしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。 (生産性の向上の程度を示す指標) ・各計画年度における減価償却費、人件費、長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均を25～29でん粉年度の製造経費の5年中庸3ヶ年平均と比較して、5.0%以上削減させる。 ・R3事業年度における修繕費を29事業年度と比較し、10%以上低減させる。 ・R3事業年度における減価償却費を29事業年度と比較し、30%以上低減させる。	R2.1.28

番号	事業者名 (製品の種類)	計画の 実施期間	経営改善計画の概要	認定 年月日
24	有限会社永松産業 (かんしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	<p>自社農場でのいも生産技術のノウハウを生産農家に共有を図ることによって、生産性の相当程度の向上を図り、かんしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各計画年度における減価償却費、人件費、長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均を25～29でん粉年度の製造経費の5年中庸3カ年平均と比較して、3%以上削減させる。 日常の整備内容を見直し、22～29でん粉年度の製造経費の5年中庸3カ年平均と比較して10%以上低減させる。 新規設備投資を控え、22～29でん粉年度の製造経費の5年中庸3カ年平均と比較して10%以上低減させる。 	R2.1.28
25	株式会社都食品 (かんしょでん粉)	R1.8.1 ～ R5.1.31	<p>①近隣農家への苗の提供等による安定的な集荷 ②歩留まりアップを目標とした設備投資による品質の良い製品の生産を図り、かんしょでん粉製造事業者の安定的な運営を維持する。</p> <p>(生産性の向上の程度を示す指標等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画期間における減価償却費を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均が、22～26でん粉年度の製造経費の5年中庸3カ年平均と比較して、1.16%以上低減させる。 原料集荷量を29事業年度に比べ、令和3年度までに180トン増加させる。 	R2.1.28

(問い合わせ先)

政策統括官付 地域作物課

電話:03-3502-8111(代)(内線4841)

FAX:03-3593-2608